集中豪雨への備えは万全ですか

近年、狭い地域に短時間に多量の雨が降る集中豪雨が増えています。昨年の夏は、局地的な大雨や集中豪雨による災害が日本各地で発生し、被害をもたらしました。

集中豪雨って
どんなとき
おこるの？

日本付近に前線が停滞しているとき、特に梅雨の終わりごろです。それと台風が日本へ近づいているときや上陸したときです。また、大気的不安定な状態が続き雷雲が次々と発生するときなどです。

集中豪雨などによる風水害は、地震にくらべ予想ができるからと安易に考えてはいけません。風水害から身を守るために、日ごろから災害に備えておきましょう。

日ごろからの備え

- ・非常持ち出し袋を用意しましょう。
- ・家族みんなで、避難場所や自宅から避難場所までの安全な道を確認しておきましょう。
- ・雨どいや排水溝など自宅周辺の排水設備が詰まっていないか注意しましょう。
- ・山やがけのそばでは、地盤が緩くなりがけ崩れが発生しやすくなるので注意しましょう。
- ・洪水ハザードマップで、ご自宅の場所がどのくらい浸水してしまう危険があるか確認しましょう。
- ・お持ちでない方は、市役所で配布しています。
- ・テレビ・ラジオ・インターネットのホームページなどから最新の情報をいち早く入手し、いつでも避難できるように準備しましょう。